

宝塚市人口ビジョン



たからづか創生総合戦略



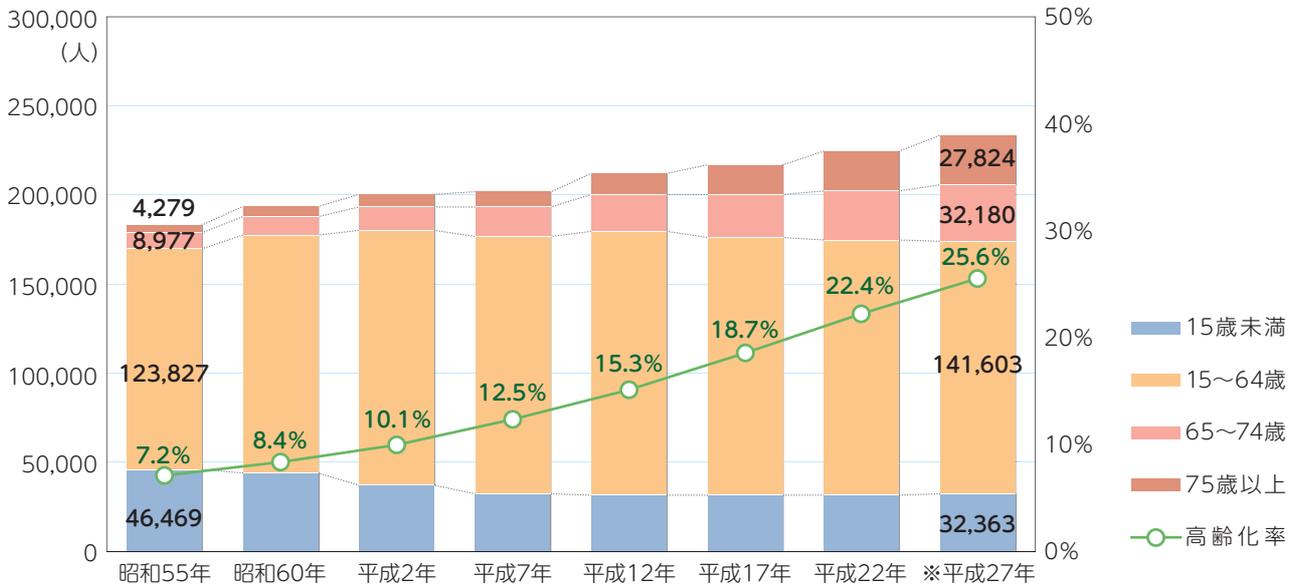
平成28年(2016年)3月

宝 塚 市

これまで

- *本市の人口はこれまで右肩上がりで増加してきましたが、今後は減少に向かうことが想定されています。
- *すでに年少人口は横ばい状況にあり、生産年齢人口は微減傾向にあることから、少子高齢化が顕著になっています。

年齢 4 区分別の人口推移



出典：国勢調査人口、※平成 27 年は H27.6 住民基本台帳人口

出生児数、自然増減の推移

- *出生児数が減少傾向にあるほか、近年は死亡者数が増加傾向にあることから、今後は自然減が進むことが懸念されます。



転入者数と転出者数、社会増減の推移

- *転入・転出者数とも減少しており、近年では、転入者数が転出者数を上回っていることから、今後も社会減の傾向が続くことが懸念されます。



出典：市窓口サービス課調べ。社会増減数には、転入・転出以外の増減要因であるその他増減(職権記載・消除、転出取消など)が含まれる。

このままだと

* 人口減少及び少子高齢化が進み、平成 22 年 (2010 年) の国勢調査による人口 22.6 万人が、平成 72 年 (2060 年) には 16.8 万人にまで減少すると予測されています。
(下図「社人研推計準拠値」参照)

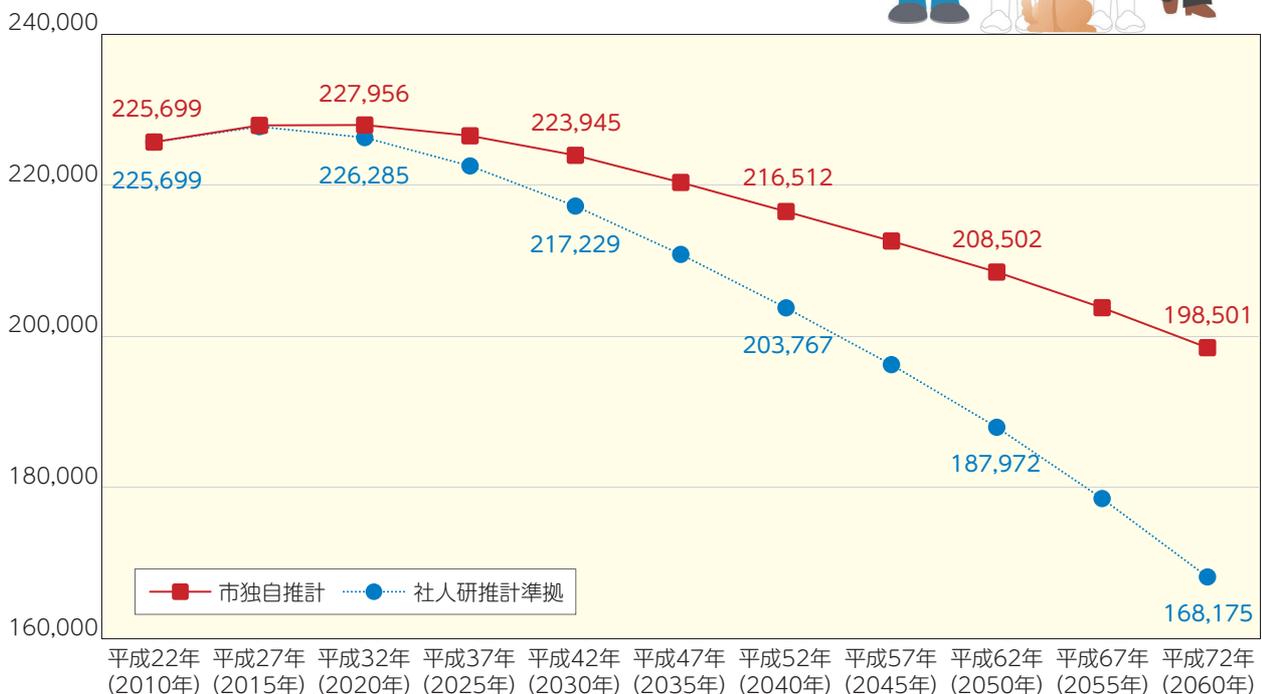
* その結果、将来本市に右のような影響を及ぼされることが懸念されます。

想定される人口減少の影響

- 生産力の低下と生産年齢層の負担増
- 公共施設の機能の見直し
- 都市環境の悪化
- まちの賑わいの低下
- 市財政への影響・・・

だから

* 出生数の減少に歯止めをかけるとともに、結婚、出産、子育て世代の転出を抑制し、転入を促進することとし、平成 72 年 (2060 年) の本市の将来人口は、**約 20 万人を確保**することを目指します。



< 国立社会保障・人口問題研究所(社人研という。)による推計の概要 >

- 主に平成 17 年(2005 年)から平成 22 年(2010 年)の人口の動向を勘案し、出生、死亡、移動について仮定条件を設定し、将来の人口を推計。
- 移動率は、今後、全域的に縮小すると仮定。

『夢・未来 たからづか創生総合戦略』とは

『夢・未来 たからづか創生総合戦略』は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び兵庫県の地域創生戦略を勘案し、宝塚市人口ビジョンを踏まえ、本市の地方創生に向けた基本目標、取り組むべき施策を取りまとめたものです。

計画期間

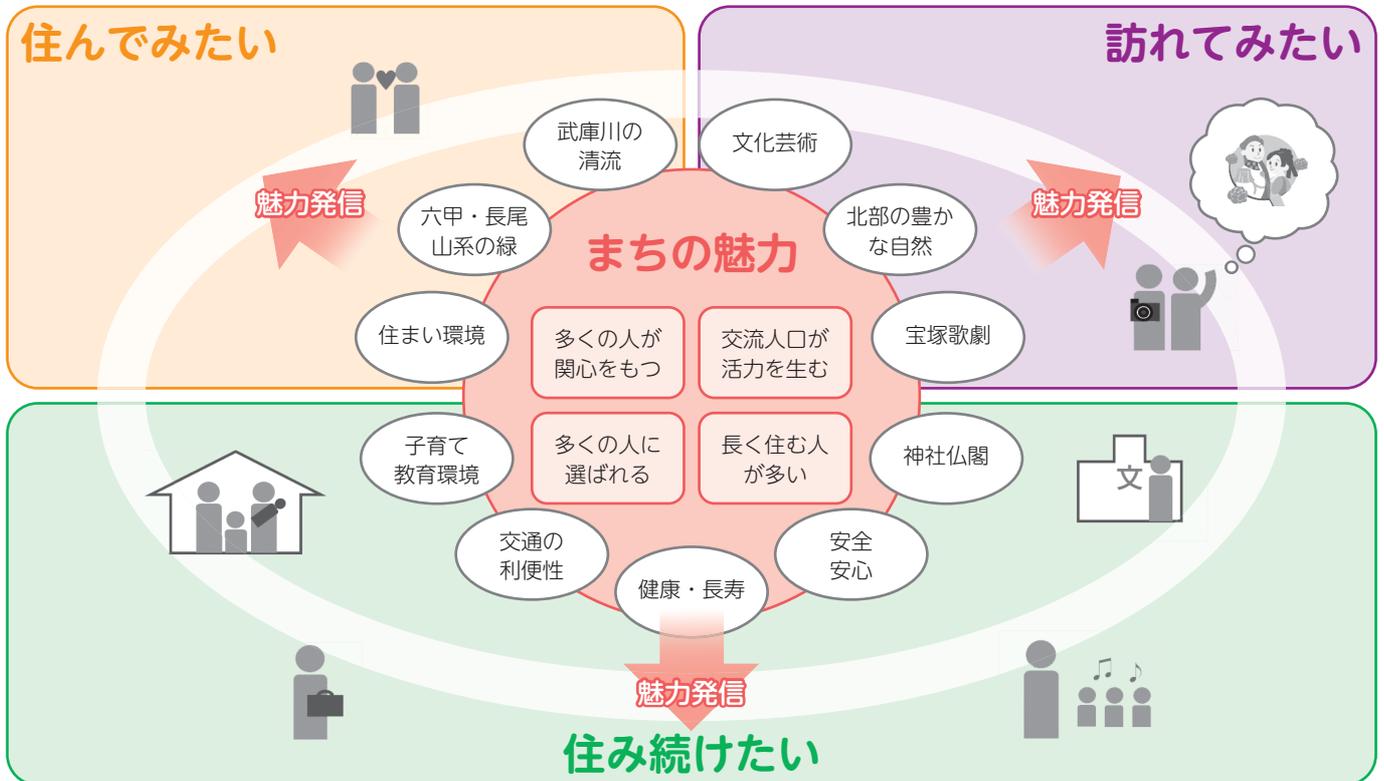
平成 27 年度(2015 年度)
～平成 31 年度(2019 年度)

めざすべき将来の方向

宝塚市の持つ魅力を最大限に生かすとともに、各施策においてさらに魅力を高め、市内外に向けて情報発信をすることにより、「住んでみたい」、「訪れてみたい」「住み続けたい」と思う人を増やし、「選ばれるまち」、「活力あるまち」をめざします。

まちの魅力にひかれて～住みたくなる～

まちの魅力を知って～訪れてみたい～



まちへの愛着を持って～住み続けたくなる～

めざすべき将来方向の実現に向けた3つの基本的な考え方

まちの魅力にひかれて
～住みたくなる～

本市の住環境などの魅力を生かすとともに、子育て支援や教育環境の充実により、まちの魅力をさらに高め、「住みたくなる」人を増やします。

まちの魅力を知って
～訪れてみたい～

本市に関心を持つ人がまちをもっと知りたくなり、訪れてみたいよう、本市が有する様々な地域資源を掘り起し、多様なメディアを活用して情報を発信することで、まちの魅力を知って「訪れてみたい」人を増やします。

まちへの愛着を持って
～住み続けたくなる～

すべての人が、健康で安心して暮らすことのできるまちづくりを進め、まちへの愛着を持って「住み続けたい」人を増やします。

施策体系

3つの基本目標

子どもと
子育てにやさしい
「まち」

地域資源を
生かした活力ある
「まち」

健康で
安心して暮らせる、
住みやすい
「まち」

基本的方向

- (1) 出産・子育て支援の充実
- (2) 子育てと仕事の両立の支援
- (3) 「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実

- (1) 観光集客の推進
- (2) 地域における産業振興と雇用の促進
- (3) 多様な文化施策の展開

- (1) 地域を支える基盤の整備
- (2) 安全で安心、快適な暮らしの提供
- (3) 良好なまちなみと豊かな環境の保全
- (4) 北部地域のまちづくり

具体的施策

- ① 妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援体制の強化
- ② 子育てしやすい環境の整備
- ① 子育てと仕事の両立支援に向けた環境整備
- ② ワーク・ライフ・バランスの推進
- ③ 女性の労働環境の整備と支援
- ① 魅力ある学校園づくりのための教育環境の充実
- ② 安全安心な魅力ある学校給食を通じた食育の推進
- ③ 子どもの健やかな成長のためのきめ細かな教育の充実
- ④ 地域の力を生かした学校支援

- ① 宝塚の魅力を生かした誘客事業の展開
- ② 外国人観光客誘客のための環境整備
- ① 地域資源を生かしたブランドの強化や商店街の活性化
- ② 農産物の生産量増加と地産地消の推進
- ③ 身近に農業や花きの魅力に触れる機会の提供
- ④ 起業家や事業者への支援強化
- ⑤ 働く意欲を持つすべての人に対する就労支援
- ① 文化芸術活動等の振興
- ② 文化財や歴史資料の公開や情報の発信
- ③ 市民スポーツの活性化

- ① すべての人にやさしい、安全で快適な道路等環境の整備
- ② 魅力ある空間の整備
- ③ 良好な住環境の整備
- ① 地域の健康づくりの推進
- ② エイジフレンドリーシティの推進
- ③ 災害に強いまちづくりの推進
- ④ 豊かな地域社会づくりに向けた地域自治の確立
- ① 良好な都市景観の整備と保全
- ② 省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入
- ③ 環境保全への啓発と支援
- ④ ごみの発生抑制・再使用・再生利用(3R)の推進
- ① 市街化調整区域における都市計画制度の弾力的運用と空き家活用
- ② 北部地域における拠点機能の見直しと公共交通網の再編
- ③ 農産物の生産量増加と地産地消の推進(再掲)
- ④ 身近に農業や花きの魅力に触れる機会の提供(再掲)
- ⑤ 自然体験活動等の学習機会の提供

取組における視点

- * まちの魅力の発信
- * 市民との対話や交流の推進
- * 様々な分野における協働の推進

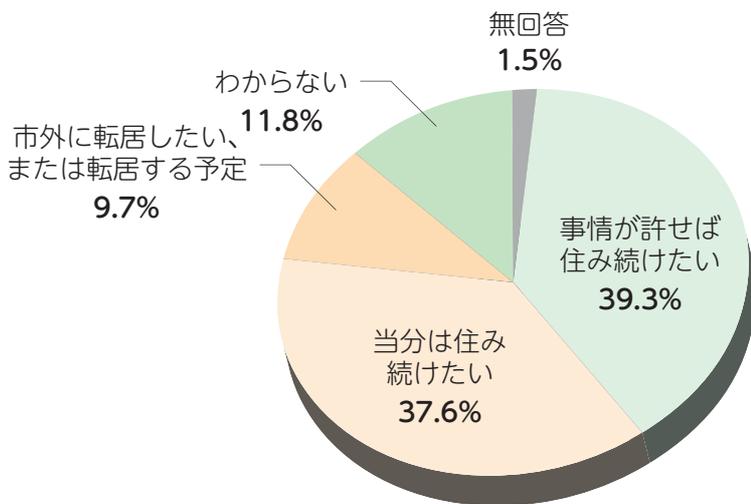
計画の進行管理

基本目標の実現に向けた取組を客観的に検証するため、数値目標を設定するとともに、具体的な施策について重要業績評価指標(KPI※)を設定し、施策の実施状況の検証、改善を図り、次の取組につなげるPDCAサイクルにより、進行管理を行います。

推進にあたって、市長を本部長とする「夢・未来 たからづか創生本部」や外部有識者などで構成する組織により、取組状況の検証を行い、必要に応じて、総合戦略を見直します。

※KPI：Key Performance Indicator の略。

◆宝塚市への定住意向

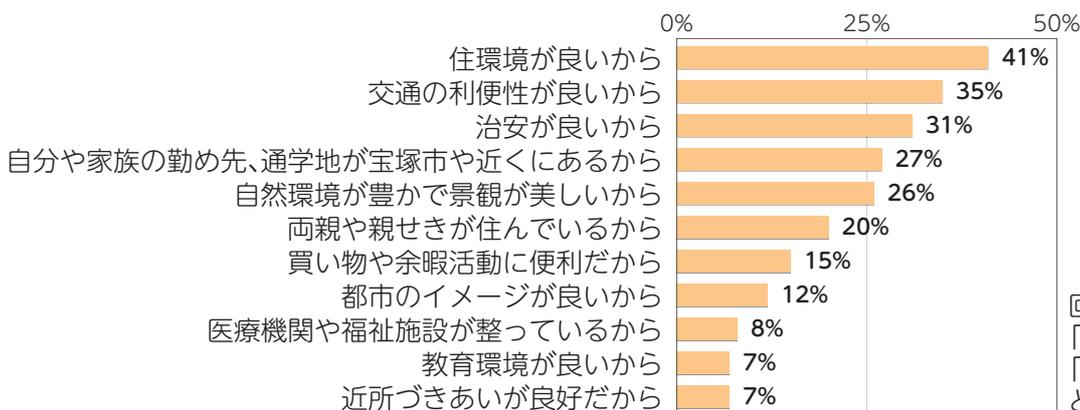


回答者数=1,101人
(市民(16～49歳)688、転入者300、高校生113)

宝塚市への定住に関する 皆様のお考え



◆市民(16～49歳)が住み続けたいと思う理由(3つまで回答可、上位10項目)



回答者数=555人
「事情が許せば住み続けたい」
「当分は住み続けたい」
と回答した人

<意向調査の概要>

人口ビジョン及び創生総合戦略の策定にあたり、市民の皆様の考えやニーズを把握するため意向調査を平成27年(2015年)7～8月にかけて実施しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

対象

- ① 市民意向調査：16～49歳の市内居住者 1,700人
- ② 転入者意向調査：転入10年以内の16～69歳の市内居住者 600人
- ③ 高校生意向調査：市内県立高校4校の3年生生徒 336人
他に市外転出者意向調査、大学生意向調査を実施

我が国においては、急速な少子高齢化の進展に的確に対応するとともに、東京圏への過度な人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的に、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、また「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(長期ビジョン)」及びこれを実現するための今後5か年の目標や施策や基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略(総合戦略)」が策定されました。

本市においても、国の長期ビジョンや総合戦略及び県の「兵庫県地域創生戦略」を勘案し、本市の実情を踏まえながら「宝塚市人口ビジョン」及び「夢・未来 たからづか創生総合戦略」を策定し、独自の施策を講じることで人口減少の抑制、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

宝塚市人口ビジョン 夢・未来 たからづか創生総合戦略

発行日：平成 28 年(2016年)3月

発行：宝塚市

〒665-8665 兵庫県宝塚市東洋町1番1号

TEL 0797-71-1141(代表)

URL <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/>

編集：企画経営部政策推進課

